

老人の専門医療を考える会 第36回全国シンポジウム  
～どうする老人医療これからの老人病院（Part36）～

医療と介護の「絆」を考えるV  
～人生最後の願いをどう受けとめますか～

当老人の専門医療を考える会では、平成23年5月第35回全国シンポジウムにおいて、「医療と介護の絆を考えるIV—胃ろうの現状と課題—」を取り上げ、その適応や延命医療についての議論を行った。次いで、平成23年11月25～26日の2日間にわたり、会員病院医師の参加によるワークショップ「私たちのEnd of Lifeへの取り組み～リビングウィルのあり方～」を開催し、平成24年5月25日～26日には医師を除く職種によるワークショップを、同じテーマで開催した。

これらから得たものは、医療や介護に携わる私たちにとって患者・家族あるいは現場スタッフ相互のコミュニケーションがいかに重要か、そのうえで互いの信頼関係を築くことができることの再確認であった。

これをもとに、第36回全国シンポジウム「医療と介護の『絆』を考えるV」では、“人生最後の願いをどう受けとめますか”をサブテーマとして、私たちは患者・家族のEnd of Lifeへの願い（living will, advance directiveなど）をどのようにして知り、寄り添うべきなのかについて、各シンポジストとともに考えてみたい。

老人の専門医療を考える会  
会長 齊藤正身

**開催概要**

◆日時 平成24年10月20日（土）13:30～17:00

◆場所 東京研修センター

◆参加費 無料

プログラム

13:30 開会挨拶

齊藤正身（老人の専門医療を考える会 会長）

13:40 プレゼンテーション（1）

猿原孝行（和恵会記念病院 理事長）

14:10 プレゼンテーション（2）

会田薫子（東京大学大学院人文社会系研究科 特任准教授）

14:40 プレゼンテーション（3）

西川満則（国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部）

15:10 プレゼンテーション（4）

長尾和宏（長尾クリニック 院長）

15:40 休憩

15:55 シンポジウム

座長 桑名 斉（信愛病院 理事長）

大川博樹（南小樽病院 理事長）

シンポジスト プレゼンテーション講師4名

16:55 閉会挨拶

藤井功（老人の専門医療を考える会 副会長）

総合司会：藤井功（老人の専門医療を考える会 副会長）

主催 老人の専門医療を考える会

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL : 03-3355-3020 FAX : 03-3355-3633

E-mail info@ro-sen.jp ホームページ <http://ro-sen.jp/>



**電車でお越しの場合**

丸ノ内線「新宿御苑前駅」2番出口 徒歩10分、都営新宿線「曙橋駅」A2出口 徒歩8分  
(お車での来場はご遠慮下さい)

**申込方法** : 下記に、代表者お名前、ご連絡先、参加人数等をお書きの上、FAXでお申し込み下さい。

またはE-mailでのお申し込みも可能です。(info@ro-sen.jp)

お申し込み後は、当日直接会場受付までお越し下さい。

**第36回全国シンポジウムFAX申込書～お申し込みは10月10日までに～**

➤ **FAX送信先 : 03-3355-3633** (老人の専門医療を考える会)

(ふりがな)

代表者お名前 :

ご所属 :

ご住所 :

(〒 - )

お電話番号 :

参加人数 : 合計 ( ) 名

複数参加の場合お名前を下記へ  
ご記入下さい。

代表者以外のご参加者名 :